

松戸市立総合医療センターを受診された患者さんおよび御家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題

「低位鎖肛術後の長期排便機能についての検討」

この研究は通常の診療で得られた記録を使って行われます。研究結果は論文及び学会で発表されることがありますが、個人を特定されるような情報は公表しません。

1. 研究目的

低位鎖肛は従来一般に術後排便機能は良好と言われていますが、長期的な排便機能の予後についての報告は少ないです。低位鎖肛の患者さんの中にも、術後長い時間が経ってから排便に関する問題が出てくる方がいることもわかってきています。

そこで、当院で低位鎖肛の術後に長期間経過観察を行った患者さんの排便機能について検討し、術後排便機能について評価し、問題点を抽出することを目的として研究を行います。

2. 対象及び方法

対象：2006年1月1日から2026年12月31日の期間中に小児外科外来受診歴があり、最終受診時年齢が6歳以上の低位鎖肛の患者さん

方法：診療録からの情報抽出

3. 調査期間

調査期間：2006年1月1日～2026年12月31日

研究期間：2026年8月1日～2027年12月31日

4. 調査内容

基本情報：初診時・手術時・外来受診時の年齢、性別、出生時の身長・体重、在胎週数、外来受診時の身長・体重

医学的情報：鎖肛の病型、併存疾患の有無と内容、術式、術後合併症の有無と内容、排便状況（便失禁、汚染、浣腸・下剤・止痢剤の使用とその内容、排便頻度、便意の有無、便性）、直腸粘膜脱の有無、再手術の有無と内容

5. 情報の利用拒否

この研究の対象となる可能性のある方で診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

6. 研究者

代表研究者：武之内 史子（松戸市立総合医療センター小児外科）

7. お問い合わせ先

この研究にお問い合わせがありましたら以下の連絡先までご連絡下さい。御希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

【紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

研究責任者：武之内 史子（松戸市立総合医療センター小児外科）

連絡先（TEL）：047-712-2511(代表・応対可能時間：平日 9 時～17 時)